

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信
主な取組	平和の礎への追加刻銘		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	<p>・沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信を目的に、追加刻銘等の実施、施設・整備等を行う。	県	追加刻銘等の実施、施設・設備等の整備		
		追加刻銘者数(累計)		
		55人	50人(105人)	45人(150人)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008287/index.html

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和の礎事業			予算事業名	平和の礎事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	委託	7,869	21,053	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	11,223
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>・令和5年度においては、365名の追加刻銘を実施し、刻銘板増設等施設の維持管理を行った。</p>				<p>・令和6年度においても引き続き、平和の礎への追加刻銘、施設の維持管理を行う。</p>		

活動指標名	追加刻銘者数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	41人	55人	365人	50人 (105人)	100.0%	順調	令和5年度は、令和4年度に新たに「平和の礎に係る刻銘基本方針」に該当すると認定された戦没者365名について、追加刻銘を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は、令和4年度に新たに「平和の礎に係る刻銘基本方針」に該当すると認定された戦没者365名について、追加刻銘を実施した。平和の礎が建設された平成7年以降の刻銘者数は「242,046名」となり、計画は順調に推進されている。追加刻銘の進捗により、平和を希求する沖縄の心を県内外へ発進することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○追加刻銘の方法等について、報道機関を活用した周知を9月頃にも行う。	○報道機関を活用した周知を9月に実施した。周知以降、問合せは増加傾向となり、追加刻銘を希望する遺族からの問合せに対して、分かりやすさ、丁寧さを意識しての対応を心がけた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	○追加刻銘等手続きの負担軽減を図ると共に「刻銘の基本方針」に該当すれば刻銘を行っているが、遺族が刻銘されている事を確認できるよう、申告にあたっての戦没者の情報を遺族へ充分周知する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	○引き続き、報道機関を活用した周知を図る。また、戦没者の立証にかかる遺族の負担軽減とともに、戦没者が刻銘されている事が確認できるよう、平和の礎へ追加刻銘を希望する遺族へ適切な説明を行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化
主な取組	沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	・平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、国内外への発信力の強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化のため、沖縄県平和祈念資料館において、特別企画展等を開催する。	県	沖縄県平和祈念資料館における特別企画展等の開催		
		特別企画展等の開催回数(累計)		
		5回	6回(11回)	5回(16回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和祈念資料館展示活動事業			予算事業名	平和祈念資料館展示活動事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	32,995	26,975	県単等	委託	29,575
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
特別企画展、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催した。				児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催する予定。		

活動指標名	特別企画展等の開催回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	5回	5回	5回	6回 (11回)	83.3%	概ね順調	令和5年度においては、特別企画展、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、ギャラリー展、新収蔵品展 を開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>年度当初は建築改修工事(～R5.4)で臨時休館が続いたが、当初計画通り企画展等を開催できた。特別企画展(R5.10～R6.1)や新収蔵品展(R6.3～R6.6予定)も含め展示を通して戦争遺跡の現状や、資料の背景にある寄贈者の想いも周知できたことで、あらためて沖縄戦と向き合う契機になった。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 専門的な知識を持つ学芸員を中心に、テーマや見せ方・切り口・展示手法などほか施設の企画展等も参考にしつつ、国内外の戦争・紛争等の時事的問題も考慮し、魅力ある企画展となるよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採用3年目の正規学芸員主導で調査研究を実施し「沖縄島北部の戦争遺跡」を開催できた。県内外から関心を持った観覧者が多数来館された。 ・R2年度より取り組んでいる「大人のための平和学習」も毎月実施できるようになり、次年度以降も沖縄戦の学び直しに有効である。 ・児童・生徒の平和メッセージ展の優秀作品の移動展示が離島を含めて5地域で開催できた。 ・R3～4年度に収蔵した資料を展示する「新収蔵品展」を開催できた。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「沖縄戦」の内容に特化した施設であるため、企画展等のテーマ内容が類似する傾向にあると思われ、マンネリ化していなかなどの検証を踏まえ、魅力ある企画展を開催する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	専門的な知識を持つ学芸員を中心に、テーマや見せ方・切り口・展示手法など・ほか施設の企画展等も参考にしつつ、国内外の戦争・紛争等の時事的問題も考慮し、魅力ある企画展となるよう努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○戦争遺跡の保全
主な取組	第32軍司令部壕の保存・公開		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	<p>・国や市町村等との連携・協働の下、県内各地に残されている戦争遺跡の保全に取り組み、一般公開が可能な遺跡については、沖縄戦の記憶継承の空間としての利活用に取り組みます。特に、沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕については、壕の詳細な位置の確認や壕周辺の地盤の安全性を検討するための地質調査等を進め、壕の保存・公開に向けて取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信、アジア・太平洋地域における平和発信拠点の形成及び、沖縄戦の実相と教訓の次世代への継承を進めるべく、第32軍司令部壕の保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信に取り組む。	県	保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信		
		調査や情報発信等の実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://32okinawa.com/

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	第32軍司令部壕保存・公開事業			予算事業名	第32軍司令部壕保存・公開事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	141,517	67,574	県単等	委託	76,757
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
壕内外の詳細調査の実施及び専用ホームページ等を活用した情報発信等を行った。				壕内外の詳細調査の実施及び専用ホームページ等を活用した情報発信等を行う。		

活動指標名	調査や情報発信等の実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	8回	6回(14回)	3回(6回)	100.0%	順調	壕内外の詳細調査、壕に関する県民の理解を深めるためのフィールドワーク等事業、壕の周知啓発を目的としたパンフレット及びホームページ掲載子ども向けコンテンツ作成事業を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>壕内外の詳細調査は、令和4年度の詳細調査結果報告、令和5年1月の詳細調査の様子に係るプレスリリース及びホームページ掲載した。フィールドワーク等事業は、2回のフィールドワーク及び1回のシンポジウムに係るプレスリリース及びホームページ掲載した。その他、令和5年7月に策定した第32軍司令部壕保存・公開基本方針の策定に係るプレスリリース及びホームページ掲載した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○第32軍司令部壕保存・公開基本計画を策定する際に、費用や財源の確保についても併せて検討する。</p> <p>○第32軍司令部壕の保存・公開に向けた取組を今後も推進するため、県や関係機関が連携して情報共有や意見交換等を目的とした連絡会議を設置し、推進体制を強化する。</p>	<p>○令和6年度の第32軍司令部壕保存・公開基本計画策定に併せて、費用や財源の確保についても検討することとした。</p> <p>○令和5年7月策定の第32軍司令部壕保存・公開基本方針を受け、沖縄県及び那覇市の関係各課で構成された第32軍司令部壕保存・公開推進連絡協議会を設置し、同年9月、令和6年3月の2回の会議を開催した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	第32軍司令部壕の保存・公開の在り方を具体的に検討し、取組を推進する必要がある。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	第32軍司令部壕の保存・公開にあたっては、費用や財源の確保について検討が必要となる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	第32軍司令部壕の保存・公開を具体的に検討し推進するため、基本計画を策定する。
① 執行体制の改善	第32軍司令部壕保存・公開基本計画を策定する際に、費用や財源の確保についてもあわせて検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○平和を軸とする国際的なネットワーク形成
主な取組	沖縄平和賞の開催		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数(累計)
施策の方向	<p>・アジア・太平洋地域の平和の構築と維持に貢献する個人・団体を「沖縄平和賞」として顕彰し、賞を通して受賞団体等の活動を支援するとともに、「沖縄平和賞」の更なる認知度向上を図りつつ、受賞団体等とのネットワークを活用した平和に関する広報啓発活動等の新たな展開を進め、平和を軸とする国際的なネットワーク形成に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄平和賞の周知を図るため、パネル展等を開催する。	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞の周知を図るパネル展等の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008311/index.html

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	27,195	11,000	県単等	負担	23,797
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施した。				第12回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	9箇所	17箇所	7箇所	9箇所 (18箇所)	77.8%	概ね順調	沖縄平和賞パネル展を県内外各施設の7箇所で実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞パネル展開催の目標値9箇所に対し、県内外各施設の7箇所で実施した。施設を利用する多くの県民や観光客等に沖縄平和賞の周知を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 沖縄平和賞の専用のホームページを開設し、同賞のさらなる認知度向上に努める。	沖縄平和賞の専用ホームページの開設に代えて、同賞の認知度向上及び平和への機運を高めるため、ガバメントクラウドファンディングを実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	パネル展等の開催において、目標値を概ね達成することができ、沖縄平和賞の認知度向上を図ることができた。 引き続き、認知度向上に係る取組を継続的に行っていく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	SNS等を活用して、受賞団体の活動状況を発信するなど、情報発信の強化に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○「国際平和研究機構（仮称）」の設置検討
主な取組	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数（累計）
施策の方向	・平和推進の拠点となり調査研究や情報発信等を行うため「国際平和研究機構（仮称）」の設置を検討するとともに、平和に関する多様な資源の集積や様々な機関との連携強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄平和賞受賞団体との定期的な意見交換会を実施する。	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞受賞団体との定期的な意見交換会実施		
		意見交換会実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	負担	27,195	11,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	23,797
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施した。				第12回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。		

活動指標名	意見交換会実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	1回	7回	1回 (2回)	100.0%	概ね順調	沖縄平和賞受賞団体と定期的な意見交換会を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞受賞団体との意見交換会を実施しており、沖縄の課題はもちろん、各団体が活動する国や地域、活動領域における諸課題、特に平和や民主主義を守るうえで必要な取り組み課題について議論する場となった。

(2) これまでの改善案の反映状況	令和5年度の取組改善案	反映状況
	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携を実施しており、これまでの連携を継続しつつ、引き続き関係団体等との意見交換会を実施していく。	歴代受賞団体のもつ諸外国における課題や取組について焦点をあてた意見交換を十分に行うことができなかった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成に取り組むため、さらなるネットワークの構築及び連携を深める必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	これまでの連携を継続しつつ、引き続き関係団体等との意見交換会を実施していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○国際会議の開催
主な取組	平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数(累計)
施策の方向	・国際関係機関と連携の下、関係諸国の機関や研究所に呼びかけ、平和構築に貢献するための定期的な国際会議の開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和構築に貢献するため、平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催を行う。	県,沖縄平和賞委員会	ネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催		
		会議等の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/16150.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	27,195	11,000	県単等	負担	23,797
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施した。				第13回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。		

活動指標名	会議等の開催回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	1回	1回	1回 (2回)	100.0%	順調	平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞歴代受賞者による基調講演やトークセッションを通して国際平和に関する機運を高めた。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
これまでの情報発信・広報事業に加え、歴代受賞者によるシンポジウム等の取組を実施することで、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努める。	第7回沖縄平和賞受賞者である特定非営利活動法人ジャパンハートと連携した「沖縄平和賞シンポジウム」を実施し、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携を実施しており、これまでの連携を継続しつつ、さらなるネットワークの構築に取り組む必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	引き続き沖縄平和賞歴代受賞者や関係団体等と連携し、シンポジウムを開催していくことで、さらなるネットワークの構築に努めていく。